

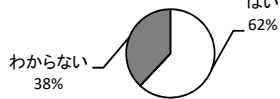
《平成30年度 児童発達支援 アンケート結果》ChildDevelopmentCare Ceresyuru

【環境・体制整備】

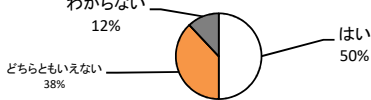
①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか



②職員の配置数や専門性は適切であるか



③生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか

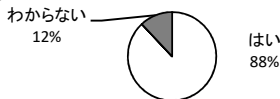


〈ご意見〉

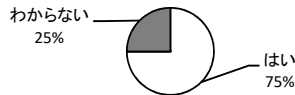
・自宅を改装しているので、難しい部分もありますが、子どもの状況に応じて対応を変えて下さるので安心して通えます。

【適切な支援の提供】

④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか



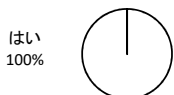
⑤児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか



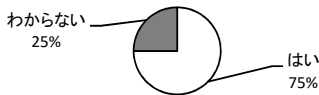
〈ご意見〉

・「生活が自分でできる」という目標設定が両親(家族)と施設が一緒なので、方向性としてやりやすいです。

⑥児童発達支援計画に沿った支援が行われているか



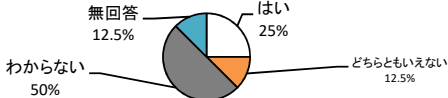
⑦活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか



〈ご意見〉

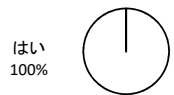
・あるいみ固定化も必要なので、この設問が不問。

⑧保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



【保護者への説明等】

⑨運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか



〈ご意見〉

・必要なことは、聞けるので、大丈夫です。

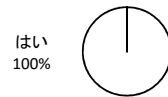
⑩児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか



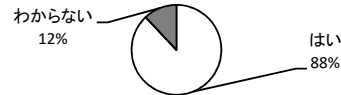
⑪保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか



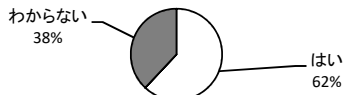
⑫日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか



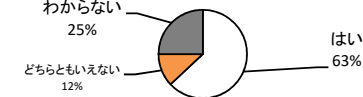
⑬定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



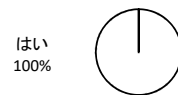
⑭父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



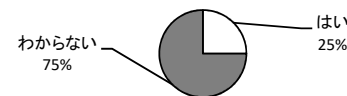
⑮子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか



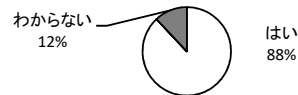
⑯子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



⑰定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか



⑱個人情報の取り扱いに十分注意されているか



【非常時等の対応】

⑲緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか



⑳非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



【満足度】

㉑子どもは通所を楽しみにしているか



〈ご意見〉

毎週金曜日を楽しみにしています。道案内までしてくれます。

㉒事業所の支援に満足しているか

